

第 66 回学術講演会予告(第 3 回)

学会会員殿

第 66 回日本産科婦人科学会学術講演会を下記のように開催いたします。

今回の学術講演会におきましては下記の点にご留意ください。

1. 一般演題(多施設共同研究を含む)および IS 国内演題の発表形式については、以下の通りとなります。

(1)一般演題(多施設共同研究を含む)の発表は、以下に記載した高得点演題、ワークショップ演題に選考された場合を除き、すべてポスター発表となります。ポスターは本文、図表ともすべて原則英語で作成してください。ただし、日本語での作成も認めます。また、当日の発表言語は日本語でも英語でも可とします。

プログラム委員会での評価が高い一般演題には、高得点演題として口演の機会を与え、発表および討論に十分な時間を提供します(この場合、ポスター発表はありません)。また、レフリーの評価が一定以上の応募演題から、ワークショップを構成いたします。ワークショップでの演題の発表形式も口演とし、ポスター発表はありません。高得点演題、ワークショップ演題のどちらもスライドは原則英語で作成してください。ただし、日本語での作成も認めます。また、当日の発表言語は日本語でも英語でも可とします。高得点演題および各ワークショップ演題のなかから、優秀演題賞を学術講演会会期中に決定し、学術講演会最終日の閉会式で賞状と副賞(楯)を授与します。

(2)IS 国内演題のポスターは英語で作成してください。当日の発表言語も英語とします。

IS 国内演題も IS Award の対象となります。評価の高い IS 国内演題には IS Award 候補演題として口演(スライド作成、発表、討論すべて英語を使用)の機会を提供します(この場合、ポスター発表はありません)。IS Award は発表当日に決定され、情報交換会で賞状と副賞を授与します。

2. 専攻医教育プログラムを平成 26 年 4 月 17 日(木)午後より開始し、翌 4 月 18 日(金)午前までの 2 日にわたって行います。各施設の指導責任医の皆様には、専攻医の出席に特段のご配慮をお願いいたします。なお、4 月 17 日(木)より託児所を開設いたします。
3. 4 月 19 日(土)に、第 65 回学術講演会に引き続き「指導者のための講習会」が行われます。本講習会は産婦人科専攻医指導のための講演会です。学会員であればどなたでも聴講できます。

テーマ「IMAGINE THE FUTURE. ～想像しよう、未来を～」

I. 会 期 平成 26 年 4 月 18 日(金), 19 日(土), 20 日(日)

II. 会 場 東京国際フォーラム(〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1)

III. 日 程(予定)

4 月 17 日(木) プレコンGRES	専攻医教育プログラム 1～6 専攻医特別プログラム
4 月 18 日(金)	開会式 教育講演 1 シンポジウム 1(周産期) 会長企画パネルディスカッション International Seminar 生涯研修プログラム 学術奨励賞受賞講演 一般演題(口演, ポスターセッション) International Session(口演, ポスターセッション) 専攻医教育プログラム 7～9 情報交換会
4 月 19 日(土)	教育講演 2, 3, 4 シンポジウム 2(腫瘍) 特別講演 1, 2, 3, 4 会長講演 招請講演 International Workshop for Junior Fellows International Seminar 生涯研修プログラム 一般演題(口演, ポスターセッション) 産婦人科診療ガイドライン—産科編 2014 解説 指導者のための講習会 男女共同参画委員会企画 医学生フォーラム
4 月 20 日(日)	教育講演 5, 6 シンポジウム 3(生殖/女性ヘルスケア) 生涯研修プログラム 日本産婦人科医会共同プログラム 一般演題(口演, ポスターセッション) 産婦人科診療ガイドライン—婦人科外来編 2014 解説 閉会式

プレコンgresプログラム：平成 26 年 4 月 17 日(木)

専攻医教育プログラム 1

救急医療

座長：防衛医科大学校 古谷 健一

医療安全(血栓塞栓含む)

演者：川崎医科大学 下屋浩一郎

演者：聖マリアンナ医科大学 鈴木 直

専攻医教育プログラム 2

異所性妊娠

座長：広島大学 工藤 美樹

内科合併症と妊娠

演者：帝京大学 綾部 琢哉

演者：順天堂大学浦安病院 吉田 幸洋

専攻医教育プログラム 3

子宮頸がんの妊孕性温存治療

座長：新潟大学 榎本 隆之

絨毛性疾患

演者：九州大学 小林 裕明

演者：千葉大学 碓井 宏和

専攻医教育プログラム 4

子宮頸部上皮内病変

座長：札幌医科大学 齋藤 豪

HPV ワクチン

演者：佐賀大学 横山 正俊

演者：藤田保健衛生大学 藤井多久磨

専攻医教育プログラム 5

骨盤位分娩の管理

座長：自治医科大学 松原 茂樹

産科手術一吸引・鉗子分娩

演者：筑波大学 小畠 真奈

演者：東京女子医科大学 牧野 康男

専攻医教育プログラム 6

妊娠高血圧症候群

座長：日本大学 山本 樹生

胎児機能不全

演者：自治医科大学 大口 昭英

演者：宮崎大学 鮫島 浩

専攻医特別プログラム

臨床研究の発表の仕方～初めての論文：執筆・投稿～

座長：帝京大学医学部附属溝口病院 西井 修

演者：順天堂大学 板倉 敦夫

IV. プログラム

第1日目：平成26年4月18日(金)

開会式

教育講演1

座長：北海道大学 櫻木 範明

遺伝性婦人科腫瘍

演者：慶應義塾大学 青木 大輔

シンポジウム1(周産期)

「妊娠後半期における妊娠維持機構とその破綻」

座長：福島県立医科大学 藤森 敬也

順天堂大学 板倉 敦夫

演者(五十音順)

日産婦データベースを用いた因子解析と多施設共同 RCT に基づく背景別早産予防対策

昭和大学 大槻 克文

妊婦の栄養摂取不足による健全な胎児発育維持機構の破綻と児の健康への長期的な影響

浜松医科大学 幸村友季子

妊娠維持における免疫脂質メディエーターの役割—妊娠高血圧症候群・早産の病理機序との関連—

東京大学 永松 健

早産の病態解明と新たな治療戦略

富山大学 米田 哲

会長企画パネルディスカッション

「想像しよう、日本のお産の未来を」

座長：日本医科大学 中井 章人

筑波大学 濱田 洋実

演者(五十音順)

産科診療所におけるお産の未来

演者：石渡産婦人科病院 石渡 勇

高次医療施設で行う院内助産の役割

演者：筑波大学 小畠 真奈

セミオープンシステムが作る地域連携

演者：日本医科大学 関口 敦子

家庭医が考えるお産の未来

演者：浜松医科大学産婦人科家庭医療学 鳴本敬一郎

ITはお産の未来にどう関わるか

演者：岩手医科大学臨床遺伝学科 福島 明宗

International Seminar

Perinatology

Chairperson：Hiroshima University Yoshiaki Kudo

2013年12月

2669

Speaker : University of Oxford Patricia Boyd

Vall d'Hebron University Luis Cabero

Reproduction

Chairperson : Yamaguchi University Norihiro Sugino

Speaker : Northwestern University Serdar E. Bulun

University of Gothenburg Mats Brännström

Urogynecology

Chairperson : Osaka City University Masayasu Koyama

Speaker : Cleveland Clinic G. Willy Davila

University of Buenos Aires Oscar Contreras Ortiz

生涯研修プログラム

クリニカルカンファレンス 1—Subspecialty を越えて(腫瘍・女性ヘルスケア)—

座長：東京医科歯科大学 久保田俊郎

東海大学 三上 幹男

1. ホルモン剤と婦人科がん・乳がん発生

演者：産業医科大学 蜂須賀 徹

2. 婦人科がん治療後のヘルスケア

演者：東京歯科大学市川総合病院 高松 潔

クリニカルカンファレンス 2—Subspecialty を越えて(腫瘍・生殖)—

座長：岩手医科大学 杉山 徹

千葉大学 生水真紀夫

1. 婦人科がん治療後の生殖医療

演者：慶應義塾大学 久慈 直昭

2. がん治療前の未受精卵・卵巣組織保存

演者：順天堂大学 菊地 盤

クリニカルカンファレンス 3—Subspecialty を越えて(周産期・腫瘍)—

座長：浜松医科大学 金山 尚裕

東邦大学医療センター大橋病院 久布白兼行

1. 妊娠中の婦人科良性・悪性腫瘍—検診，診断，治療—

演者：大阪医科大学 寺井 義人

2. 婦人科良性腫瘍・悪性腫瘍治療後の周産期管理

演者：新潟大学 高桑 好一

クリニカルカンファレンス 4—Subspecialty を越えて(生殖・周産期)—

座長：富山大学 齋藤 滋

愛育病院 安達 知子

1. 生殖医療による母体・胎児へのリスク

演者：東北大学 菅原 準一

2. Pre-pregnancy checkup and comprehensive counseling

演者：国立成育医療研究センター 藤井絵里子

クリニカルカンファレンス 5(腫瘍)—標準治療になるのに何が不足か？—

座長：大阪医科大学 大道 正英

JR 札幌病院 寒河江 悟

1. 上皮性進行卵巣癌に対するネオアジュバント化学療法

演者：北里大学 恩田 貴志

2. 上皮性進行卵巣癌術後化学療法としての腹腔内投与

演者：埼玉医科大学国際医療センター 藤原 恵一

学術奨励賞受賞講演

一般演題

International Session

専攻医教育プログラム 7

座長：金沢大学 藤原 浩

内分泌疾患

演者：東邦大学医療センター大橋病院 久具 宏司

排卵誘発法

演者：滋賀医科大学 木村 文則

専攻医教育プログラム 8

座長：旭川医科大学 千石 一雄

生殖補助医療 (ART)

演者：兵庫医科大学 柴原 浩章

非典型的な性分化・生殖器の多様性

演者：埼玉医科大学 石原 理

専攻医教育プログラム 9

座長：弘前大学 水沼 英樹

ホルモン補充療法 (HRT)

演者：愛知医科大学 若槻 明彦

骨粗鬆症

演者：山形大学 高橋 一広

2013年12月

2671

第2日目：平成26年4月19日(土)

教育講演 2

ART プロセスの再検証：次世代に向けて

座長：徳島大学 苛原 稔

演者：秋田大学 寺田 幸弘

教育講演 3

胎児治療

座長：大阪大学 木村 正

演者：成育医療研究センター 左合 治彦

教育講演 4

産科超音波診断の今とこれから—Where are we going?—

座長：東京大学 藤井 知行

演者：岩手医科大学 菊池 昭彦

シンポジウム 2(腫瘍)

「難治性卵巣癌の克服を目指して」

座長：東京慈恵会医科大学 岡本 愛光
九州大学 加藤 聖子

演者(五十音順)

卵巣明細胞腺癌に対する線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR)2 シグナル伝達経路を
標的とした新規治療戦略

鳥取大学 板持 広明

難治性卵巣癌の浸潤・転移に関わる分子をターゲットとした新規治療法の開発

大阪医科大学 寺井 義人

化学療法抵抗性卵巣癌の局所免疫の解析に基づいた、がん免疫逃避を標的とした新規治療戦略

京都大学 濱西 潤三

卵巣癌幹細胞および癌幹細胞ニッチとして機能する骨盤腹膜を標的とした新たな治療戦略

熊本大学 本原 剛志

特別講演 1

産婦人科内視鏡の進展と臨床・教育・研究

座長：慶應義塾大学 吉村 泰典

演者：高知大学 深谷 孝夫

特別講演 2

強出力集束超音波による胎児治療

座長：杏林大学 岩下 光利

演者：愛育病院 岡井 崇

特別講演 3

超高齢社会における女性の尿失禁の的確な診断と治療

座長：岡山大学 平松 祐司

演者：大阪市立大学 石河 修

特別講演 4

地方大学産婦人科—苦悩から希望へ—

座長：東北大学 八重樫伸生

演者：島根大学 宮崎 康二

会長講演

未来の医療を創る臨床試験—計画・実行の勧め—

座長：群馬大学 峯岸 敬

演者：筑波大学 吉川 裕之

招請講演

睡眠・覚醒の謎に挑む

座長：京都大学 小西 郁生

演者：筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長・教授 柳沢 正史

International Workshop for Junior Fellows

Keynote Lecture

Chairperson : Osaka University Tadashi Kimura

FIGO's Contribution to Women's Health

Speaker : FIGO Sabaratnam Arulkumaran

1. Prevention and Control of Viral Infections in Pregnancy

Chairperson : FIGO Hamid Rushwan

Kobe University Hideto Yamada

Speaker : ACOG Andrea Desai

KSOG Ju Young Cheon

TAOG Yan-Zhu Wang

JSOG Miho Matsushima

Yukito Minami

Takafumi Ushida

Takahiro Koyama

Mari Tadakawa

2. Impact of Endometriosis on Women's Health

Chairperson : FIGO Gamal Serour

University of Tokyo Yutaka Osuga

Speaker : ACOG Yates Knowlton

KSOG Hang Yong Jang

TAOG Chi-Chun Liao

JSOG Hiroaki Moroi

Kiyotaka Takagi

Takuro Yamamoto

Hirohiko Tani

Shingo Tayama

3. Management of Young Women's Gynecologic Cancer

Chairperson : OGSM Abdul Aziz Yahya

2013年12月

2673

Fujita Health University Takuma Fujii

Speaker : ACOG Tracee Suetsugu

KSOG Jung-Yun Lee

TAOG Yi-Jou, Tai

JSOG Kazunori Nagasaka

Takashi Yoshioka

Akimasa Fukui

Eriko Takatori

Yutaka Torii

International Seminar**Oncology**

Chairperson : Saitama Medical University International Medical Center Keiichi Fujiwara

Speaker : St. Joseph's Hospital and Medical Center Bradley J. Monk

MD Anderson Cancer Center Robert Coleman

Columbia University Medical Center Thomas J. Herzog

生涯研修プログラム**クリニカルカンファレンス 6(腫瘍)—特殊な卵巣腫瘍の診断と治療—**

座長：熊本大学 片渕 秀隆

九州大学 加来 恒壽

1. 性索間質性腫瘍

演者：東邦大学医療センター大橋病院 小宮山 慎一

2. 境界悪性・悪性胚細胞腫瘍

演者：琉球大学 青木 陽一

3. 上皮性境界悪性腫瘍

演者：久留米大学 牛嶋 公生

クリニカルカンファレンス 7(女性ヘルスケア)—普及率を上げるための提言—

座長：鹿児島大学 堂地 勉

自治医科大学附属さいたま医療センター 今野 良

1. 経口避妊薬

演者：日本家族計画協会 北村 邦夫

2. HRT

演者：東京医科歯科大学 尾林 聡

3. 子宮頸がん予防ワクチン

演者：筑波大学 松本 光司

クリニカルカンファレンス 8—Subspecialty を越えて(女性ヘルスケア・生殖)—

座長：山形大学 倉智 博久

帝京大学医学部附属溝口病院 西井 修

1. PCOS の生涯管理

演者：熊本大学 大場 隆

2. 生殖医学と性感染症

演者：群馬大学 岸 裕司

クリニカルカンファレンス 9(生殖)—排卵誘発 Update—

座長：埼玉医科大学 石原 理
金沢大学 藤原 浩

1. 排卵誘発の現状と将来

演者：徳島大学 松崎 利也

2. 早発卵巣不全に対する排卵誘発

演者：聖マリアンナ医科大学高度生殖医療技術開発講座 石塚 文平

3. 調節卵巣刺激法

演者：兵庫医科大学 柴原 浩章

クリニカルカンファレンス 10—Subspecialty を越えて(周産期・女性ヘルスケア)—

座長：長崎大学 増崎 英明
野崎ウイメンズクリニック 野崎 雅裕

1. 妊娠糖尿病と妊娠高血圧症候群の後の生涯管理

演者：愛知医科大学 渡辺 員支

2. DOHaD (Developmental Origin of Health and Disease)

演者：国立健康・栄養研究所栄養疫学研究部 瀧本 秀美

一般演題

産婦人科診療ガイドライン—産科編 2014 解説

座長：北海道大学 水上 尚典
前田産科婦人科医院 前田津紀夫

指導者のための講習会

座長：山形大学 倉智 博久

(演題未定)

演者：Carilion Clinic/Virginia Tech Carilion School of Medicine Patrice M. Weiss

研修医のメンタルヘルスについて

演者：筑波大学医学医療系地域医療学 前野 哲博

理事長推薦企画(男女共同参画・女性の健康週間委員会)

医学生フォーラム(日本産科婦人科学会 Plus One プロジェクト)

2013年12月

2675

第3日目：平成26年4月20日(日)

教育講演 5

婦人科悪性腫瘍と血栓塞栓症

座長：東京慈恵会医科大学 落合 和徳

演者：筑波大学 佐藤 豊実

教育講演 6

情報技術がもたらす婦人科腫瘍学の未来—OMICS からロボットまで—

座長：久留米大学 嘉村 敏治

演者：近畿大学 万代 昌紀

シンポジウム 3(生殖/女性ヘルスケア)

「子宮内膜症の病因・病態解明と治療戦略」

座長：鳥取大学 原田 省

東京大学 大須賀 穰

演者(五十音順)

Bacterial contamination hypothesis：細菌性エンドトキシンと

Toll-like receptor 4(TLR4)が司る子宮内膜症の増殖・進展に関する新たな病態生理

長崎大学 カーン カレク

子宮内膜症におけるエピジェネティクス異常の解明

大分大学 奈須 家栄

新規ヘルパー T 細胞を標的とした子宮内膜症の病態解明と革新的治療戦略

東京大学 平田 哲也

子宮内膜症発症メカニズムにおける逆流経血とその免疫学的監視機構

高知大学 前田 長正

<指定発言>子宮内膜症の発症・進展における DNA メチル化異常の関与

山口大学 山縣 芳明

生涯研修プログラム

レクチャーシリーズ 1(生殖)

座長：名古屋市立大学 杉浦 真弓

山梨大学 平田 修司

1. 着床前診断

演者：慶應義塾大学 末岡 浩

2. 男性不妊診療の最前線

演者：大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学泌尿器科 辻村 晃

レクチャーシリーズ 2(腫瘍)

座長：名古屋大学 吉川 史隆

国立がん研究センター中央病院 笠松 高弘

1. 婦人科がんと分子標的治療薬

演者：松江市立病院 紀川 純三

2. 陽子線・粒子線治療の進歩と将来

演者：筑波大学医学医療系放射線腫瘍学 櫻井 英幸

レクチャーシリーズ3(周産期)

座長：北海道大学 水上 尚典
川崎医科大学 下屋浩一郎

1. 妊産婦の脳卒中

演者：京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座脳神経外科学 宮本 享

2. 自己免疫疾患—妊娠認容条件と妊娠中の管理—

演者：国立成育医療研究センター母性医療診療部 村島 温子

クリニカルカンファレンス11(女性ヘルスケア)

—生殖年齢を過ぎた過多月経患者に対する低侵襲治療について—

座長：国立国際医療研究センター 矢野 哲
滋賀医科大学 村上 節

1. マイクロ波子宮内膜アブレーション

演者：医誠会病院 金岡 靖

2. レボノルゲストレル放出子宮内避妊システム

演者：聖路加国際病院 百枝 幹雄

クリニカルカンファレンス12(女性ヘルスケア・生殖)—原発性無月経の管理—

座長：順天堂大学 竹田 省
京都府立医科大学 北脇 城

1. MRKH 症候群などの造膣

演者：東北公済病院 上原 茂樹

2. 原発性無月経と生殖医療

演者：慶應義塾大学 丸山 哲夫

クリニカルカンファレンス13(周産期)—超音波診断による胎児 well-being 評価—

座長：香川大学 秦 利之
埼玉医科大学総合医療センター 関 博之

1. 胎児発育・形態評価

演者：長崎大学 三浦 清徳

2. 胎児機能評価

演者：九州大学 福嶋恒太郎

日本産婦人科医会共同プログラム

症例から学ぶシリーズ(1)

1. 産婦人科における遺伝カウンセリング

座長：横浜市立大学 平原 史樹
奈良県立医科大学 小林 浩

①出生前遺伝学的検査に際して産婦人科医に必要な臨床遺伝学

演者：信州大学 金井 誠

②周産期診療における遺伝カウンセリング(ロールプレイを用いて)

演者：千葉市立海浜病院 飯塚 美徳

2013年12月

2677

③婦人科疾患における遺伝カウンセリング(ロールプレイを用いて)

演者：昭和大学 清水 華子

2. 産科医療補償制度原因分析委員会報告から

座長：愛育病院 岡井 崇

宮崎大学 池ノ上 克

①脳性麻痺予防に対する胎児心拍数モニタリングの有効性

演者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 高橋 恒男

②常位胎盤早期剝離をいかに早く診断するか

i) 脳性麻痺と常位胎盤早期剝離

演者：昭和大学 関沢 明彦

ii) 切迫早産と常位胎盤早期剝離の鑑別

演者：日本医科大学 中井 章人

③脳性麻痺に至った子宮内感染(絨毛膜羊膜炎)の胎児心拍数モニタリングの特徴

演者：国立成育医療研究センター 塚原 優己

症例から学ぶシリーズ(2)

3. 事例からみた分娩時大量出血への対応

座長：日本産婦人科医会 川端 正清

足利赤十字病院 春日 義生

①母体死亡事例分析からの「母体安全の提言」について

演者：三重大学 池田 智明

②分娩時大量出血時の FFP 投与の重要性

演者：国保旭中央病院 小林 康祐

③分娩時大量出血の際の一次・二次施設の必要な対応

演者：葛飾赤十字産院 鈴木 俊治

④分娩時大量出血症例受け入れ三次施設の対応

演者：東京女子医科大学 牧野 康男

一般演題

産婦人科診療ガイドライン—婦人科外来編 2014 解説

座長：東北大学 八重樫伸生

奈良県立医科大学 小林 浩

閉会式

※平成 25 年度優秀論文賞受賞論文

(3 日間ポスター提示の予定です)

V. 一般演題・IS (International Session) 国内演題

募集は 9 月 26 日に締め切りました。

採否はプログラム委員会での厳正な審査の上、平成 25 年度第 3 回理事会(12 月 7 日)で決定します。

採用された演題受付番号を第 66 回学術講演会ホームページで公開し、採否結果の発表とします。

Ⅵ. 臨時総会

平成 26 年 4 月 17 日(木)に予定しております。

Ⅶ. 学術講演会の事前登録について

IC カードを用いた事前登録を行います。詳細は次頁をご参照ください。

Ⅷ. 情報交換会について

平成 26 年 4 月 18 日(金)に予定しております。参加費は無料です。詳細は決定次第お知らせいたします。

Ⅸ. 宿泊・交通機関の手配のご案内について

今回、旅行会社を利用しての宿泊・交通機関のご案内はいたしません。

X. 託児所について

以下のように託児所を開設いたします。詳細は決定次第お知らせいたします。

- ・開設日：平成 26 年 4 月 17 日(木)～4 月 20 日(日)
(完全予約制。定員となり次第、締め切りとさせていただきます。)
- ・対 象：生後 3 か月目(生後満 2 か月が過ぎている)～小学校 6 年生までの健康なお子様

XI. その他

その他については決定次第お知らせいたします。

平成 25 年 12 月

公益社団法人 日本産科婦人科学会
第 66 回学術集会長 吉川 裕之